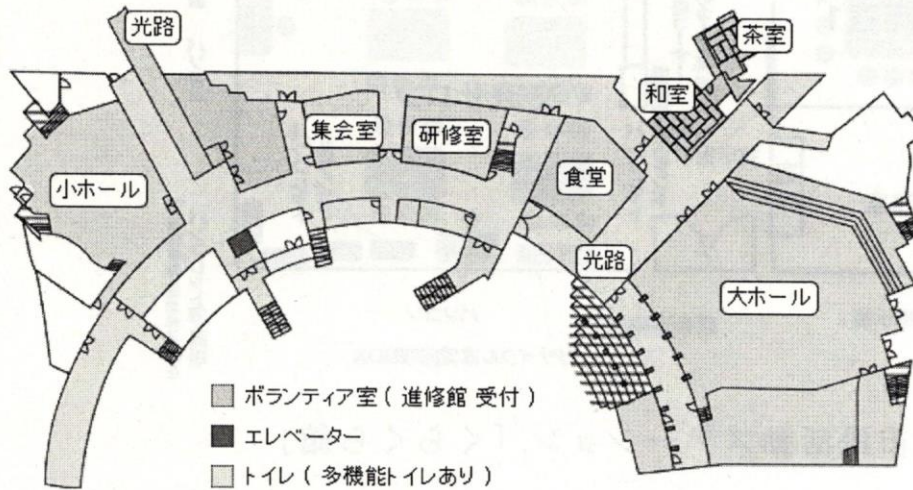


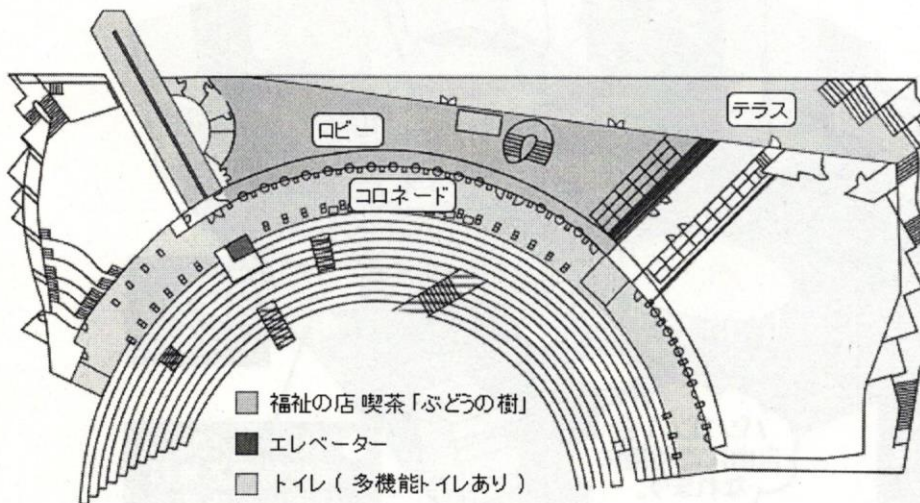
他自治体施設との比較

(1) 宮代町 進修館（市民活動スペース「キッカケスペース」）

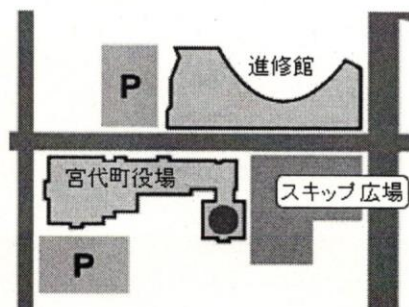
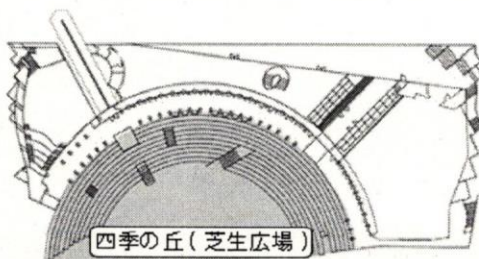
館内 1F



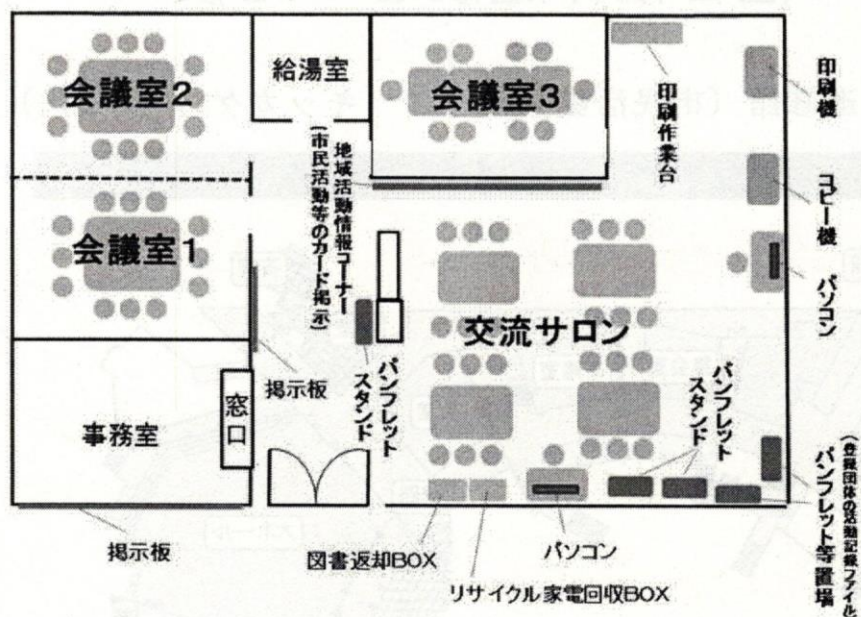
館内 2階



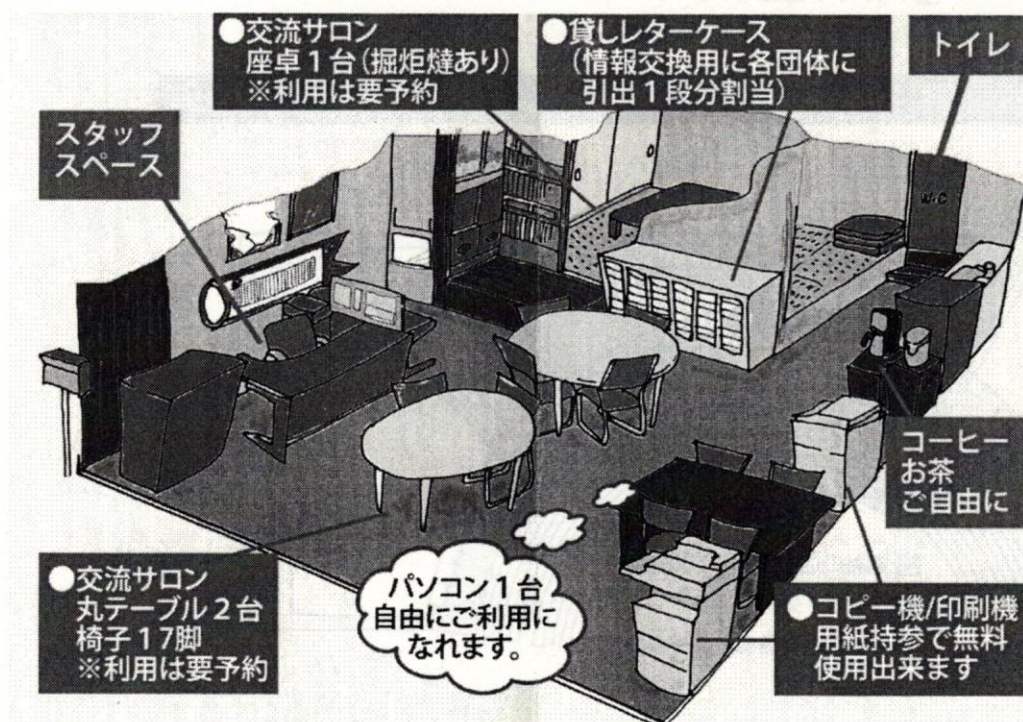
館外施設



(2) 桶川市 市民活動サポートセンター

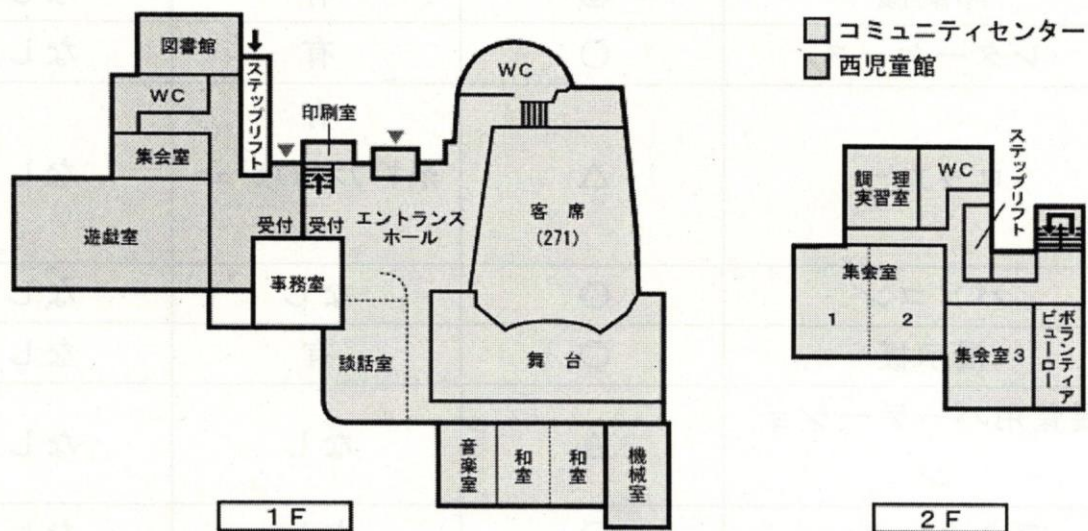


(3) 加須市 市民活動ステーション「くらくら館」



(4) 白岡市コミュニティセンター

施設概要



市民活動センター視察先概要一覧

		宮代町	桶川市	加須市
(1)理念等	支援対象とする団体及び支援内容	進修館では、市民活動団体をはじめ地区・自治会に対して、市民活動の中間支援組織として、人・団体・事業など地域資源の縁結び（マッチング）やコーディネートを通じて、まちの活性化を目指している。	桶川市内で活動している市民活動団体が、これから地域で活動を始めたいと思っている市民。 桶川市協働推進条例第8条（市民等及び市は、地域の特性や特色を生かすための活動又は地域の課題等をともに考えて解決するための活動を行う場を設けるとともに、これらの活動を行うための組織を育成するよう努める）の規程に基づき市民活動を支援し、及びその促進を図るため、桶川市市民活動サポートセンターを設置する。 ―桶川市市民活動サポートセンター設置及び管理条例より―	特定非営利活動促進法第2条第1項の別表に掲載されている分野に該当する団体とそれに関心のある個人（政治・宗教活動を目的とする団体は除く）。 なお、「社会教育の推進」「学術・文化・芸術・スポーツの振興」分野には、社会教育関係団体（生涯学習団体）が多数該当するが、自分たちが学ぶことだけを考える内向きの団体は対象としない。学習機会を広く市民に提供する、または学習成果を地域イベントや福祉施設等で還元することを目指す場合はサポート対象としている。
(2)運営体制	運営方法	指定管理（NPO法人を代表とするコンソーシアム）	私設公営。 いずれは市民主体の管理等がよいと考えている。	公設民営（市と市民活動団体の協働管理） 市は、補助金交付や光熱費・通信費負担、備品補修などを行い、市民活動団体は、施設の運営や事業実施などを行っている。
	運営予算	町からの指定管理料が27,800千円。その他、施設利用料金や自主事業収入をもとに管理・運営。	8,746千円	市からの補助金3,066千円、その他事業収入等169千円。施設維持管理費4,159千円（くらくら館単体では3,235千円）。
	休館日	年末年始（12月29日から1月3日）	月曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）	土曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）
	開館時間	9時から21時30分まで	9時から21時まで	10時から17時まで。 ただし、1週間以上前に事前申請があった場合は、21時まで開館する。
	職員数	施設長1名、市民活動の中間支援を行うマネジメントスタッフ4名、施設の利用受付等の業務を行う専門スタッフ7名、施設の営繕スタッフ1名、構成企業から自主事業の企画等を行うスタッフ2名の計19名。シフト制。	市役所職員2名、他常勤2名、他非常勤3名。通常、常勤1名＋臨時2名の体制。	非常勤10名。シフト制（10時から14時15分までの中で、3時間は2人勤務、その他の時間は1人勤務。）。
	相談員数及び職歴等	1～2名（さいたまNPOセンターからの派遣）	相談員なし。 ただし、相談業務に限界を感じているため、NPOからの派遣を考えている。	専任はいない。スタッフでできることは対応している。
(3)施設	運営委員会	施設利用者からなる運営協議会を平成27年度末に立ち上げ、意見交換会を実施している。 なお、平成28年度開催の意見交換会参加者は8名（やりたいゾウ登録者4名、自治会区長1名、施設利用団体3名）。	なし。 なお、実行委員会形式で、団体同士のまつりを開催したいと考えている。	登録団体の代表者が集まる会議（運営委員会）を隔月で開催している。 なお、出席者は20数名程度。
	施設の広さ、及び改善点	延床面積3,861㎡（大ホール644㎡、小ホール264㎡、ボランティア室92㎡、集会室58㎡、研修室82㎡、食堂90㎡、和室30㎡、茶室13㎡、ロビー212㎡）。 改修の予定なし。	208㎡（会議室1～3、交流サロン）。	62㎡（和室8畳、土間）。 館長個人の希望としては、30～40名入れるような部屋やコピー機等の備品の部屋の増改築、男女別トイレの設置、職員用ロッカー・休憩スペース・非常口の確保をしたいとのこと。
(4)利用状況	設備内容及び改善点	印刷機、コピー機、レターケース、ロッカー、パソコン、掲示板。 現在、不要と考える設備等はなし。追加については、町と協議の上、検討したい。	印刷機、コピー機、閲覧用パソコン、掲示板、展覧用パーテーション、ラミネーター、大型ホチキス、裁断機、強力パンチ（穴あけ機）、プロジェクター、スクリーン、CDプレイヤー。 なお、これら設備は登録者ではなくても利用可。	印刷機（10枚以上の利用から）、コピー機（白黒）、裁断機、自動ホチキス、ラミネーター、レターケース。 館外貸出として、プロジェクター、スクリーン、アンプなどもある。
	利用条件及び禁止事項	政治活動・布教活動に関わる利用や指定場所以外での喫煙、飲食等。	会議室内の食事や楽器の演奏、エクササイズ。	館内の喫煙・飲酒・物品の販売の禁止。 コピー機印刷機は、登録団体の主旨に適合しないものの印刷（例：団体活動と別に代表者が経営する商店のチラシなど）や、他から支援を受けている事業のためのものの印刷（例：加須市自治強力団体補助金の対象となっている自治協力団体の総会資料）を禁止している。 その他、館内で得た個人情報了他で使用すること（例：商品の売りつけ、承諾を得ない個人宅訪問など）を禁止している。
(4)利用状況	年間利用人数増加の工夫	平成25年度45,964人、平成26年度54,979人、平成27年度55,665人。 平成27年度から直営時に休館としていた水曜日を開館することで利用者サービスの向上を図っている。	平成26年度2,454人、平成27年度14,442人。月平均では、平成26年度491人、平成27年度1,204人、平成28年度1,362人。 子ども用遊具の備え付けや、登録団体の紹介掲示など、試行錯誤をしている。	平成25年度3,451人、平成26年度4,107人、平成27年度4,605人。 木曜オフ会（イベント）の事業展開により利用者増加につながっている。
	利用者の多い曜日や時間	特になし。 ただし、年配の利用者が多いため、昼間の利用が多くなっている。	火、金、土曜日の利用者が多い。	木曜オフ会開催日の木曜日の利用者が多い。
	登録団体数及び活動内容	全80団体。 内訳は、音楽15団体、国際交流3団体、子育て支援2団体、食文化2団体、環境4団体、健康4団体、高齢者支援2団体、障がい者支援1団体、生涯学習27団体、スポーツ11団体、ダンス7団体、防災・防犯2団体。	全148団体。 活動内容は、趣味、子育て、ボランティア等（HPでも公開している）。	全127団体。 内訳は、学術・文化・芸術・スポーツ振興55団体、まちづくりの推進51団体、子どもの健全育成48団体、健康・医療・福祉の増43団体、情報化社会の発展2団体、消費者の保護2団体。
	相談内容	主な相談内容は、市民活動団体の会計処理や運営等に関する相談。 市民活動の運営等に関する相談は、日常的にスタッフが対応しているが、会計や労務など、専門的なものに関しては、さいたまNPOセンターの専門家が同席している。	主に、NPO法人の設立や、団体人数を増加させることについての相談	主に、団体活動に関する相談（例：チラシ配布方法など周知活動に関すること、イベントに協力してくれる団体の紹介、県の補助金の申請方法など）や、技術的サポートに関する相談（例：文面・文章のアドバイス、PCやIT機器の利用・画像処理方法・クラウド利用方法など）。
	交流や連携	やりたいゾウ登録者を対象として情報交換会を開催している。	初年度は、懇親会を開催し、施設の利用方法等の説明も行った。 次年度以降は、市民活動団体交流会を開催し、団体間の交流や問題意識の共有化を図った。なお、未登録団体も参加した。	団体同士の交流の機会としては、年1回行われる市民活動フェア、運営委員会を開催している。 その他、市と団体の交流の機会としては、助成金交付（加須市地域市民活動支援補助事業）で「一緒に取り組もう部門」を設けるなどしている。
	連携例	やりたいゾウの音楽関係の登録者が集まり、イベント（やりたいゾウ音楽祭）やお祭り関係のイベント（みやしろおひな祭り）を開催。 また、登録者同士がお互いを知る機会となるよう、市民活動見本市（四季の丘祭り）を開催している。 なお、イベント実施にあたっては、日本工業大学とのマッチングも行っている。	なし	市民活動フェアでの交流の中から、お互いの活動に力を貸す事例（脳トレの団体とマジック団体が相互に体験機会を提供）が生まれた。 福祉施設でのボランティア活動を行っている団体から、イベントでアトラクションを受け持ってくれる団体がいないか相談を受け、落語の会などを紹介し、連携が生まれた。

メ

モ

ふれあいの街

第60号



平成29年度、白岡市コミュニティ協議会は何のためにどんなことをしたのだろう？

文化講演会



6月24日（土）、人々の生涯学習の意欲向上とコミュニティ活動の参考になるよう行われたんじゃ。

フリーキャスターとして活躍中の元NHKアナウンサー堀尾正明さんに、講演を行っていただきました。来場者の皆さんは堀尾さんのユーモアあふれる語り口にひきこまれ、笑いの絶えない講演となりました。



白岡ふるさとまつり



10月15日（日）、郷土意識にあふれた住みよいまちになるように実施したのよ。

市制施行5周年の節目の年であった今回は、毎年恒例の模擬店等に加えて記念イベントのスタン



プラリーが開催されました。雨天にもかかわらず多くの人々が来場し、楽しそうな笑い声があふれていました。

花いっぱい運動



3月9日（金）、美しいまちづくりの推進のために実施したんだよ。

花の苗を味彩センターでお配りし、また、小中学校、保育所、障害者支援施設など16か所にも配付しました。あいにくの雨天にもかかわらず、苗を渡す人にも受け取る人にも自然と明るい笑顔があふれていました。



クリーン運動



美しいまちづくりの推進のため、公共施設などで清掃活動を行ったんじゃ。

多くのかたに頑張っていたいただき、たくさんゴミを集めてまちを綺麗にすることができました。



実施日	団体名
6月11日（日）	行政区長会（下大崎区）
11月12日（日）	行政区長会（新白岡1～3丁目区）
3月4日（日）	行政区長会（高岩1区）

白岡市コミュニティ協議会は、次の19団体から構成されています。（順不同）

行政区長会、小・中学校長会、PTA連絡協議会、母子愛育会、くらしの会、文化団体連合会、体育協会、南彩農業協同組合、商工会、老人クラブ連合会、ライオンズクラブ、子ども会育成連絡協議会、母子福祉会、防火安全協会、手をつなぐ親の会、遺族会、農業会議所、食生活改善推進員協議会、観光協会

白岡市コミュニティ協議会は、市民の幸せをめざし、心の触れ合う活力ある住みよい地域社会の建設を目的として、昭和56年に設立されました。これからも、住む人が輝き、まちが輝くことをめざして、各種まちづくり活動を進めてまいります。





白岡市コミュニティ協議会構成団体の活動紹介

農業会議所の活動

白岡市農業会議所

私たちは、農業後継者の確保や魅力ある農業の発展等を目的とする団体です。より良いものを生産し、喜んで消費していただくことを目指しております。農業祭への出品参加をはじめとして、水利研究等を目的に施設見学会等を実施し、会員間の絆の強化を図っております。

母子福祉会の活動

白岡市母子福祉会

母子福祉会は昭和42年に発足し、今年で51年目を迎えます。年に数回、市の施設への慰問を行うことで施設利用者の方々にお喜びいただいております。「女は弱いが母は強い」をスローガンに仲間づくりを応援しています。

愛育会の活動

白岡市母子愛育会

愛育会の活動の一環として、白岡まつりにおいて赤ちゃん広場を催し、手形とりを行っています。その際に住所を教えてくださいました方には、「子育て中のお母さんの仲間づくり」として行っている幼児教室へのお誘いの手紙を配布しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

くらしの会の活動

白岡市くらしの会

くらしの会は、今年創立50周年を迎えました。悪徳商法被害防止の啓発として駅やスーパーの店頭等でチラシを配布したり、市との共催で消費生活セミナーや寝たきり予防の健康体操、視察研修、料理教室、交流会などを行っています。

新会員の入会を心よりお待ちしております。

老人クラブ連合会の活動

白岡市老人クラブ連合会

当会には、「楽しい健康づくり」を目指して、健康体操部・グラウンドゴルフ部・健康ダンス部・ウォーキング部・写真部・絵手紙部があります。どのクラブも随時入会可能です。仲間同士の気楽な部活動で、無理のない「健康づくりと脳トレ」を体験出来ます。



「私達の健康は、私達の手で」

白岡市食生活改善推進員協議会

「健康は、自分で創る・家族地域の健康は、みんなで支える」を基本理念に「私たちの健康は、私たちの手で」のスローガンと共に、地域の特性に合った健康づくりを進めていきたいと会員一同思っております。

商工会の活動

白岡市商工会

白岡市商工会は中小企業の支援と地域経済の発展のために活動を行う団体です。経営、金融、労働相談や税務指導の実施のほか、「商工まつり」「わんぱく商店街」「みんなの白バル」等のイベントを開催し、商工業の振興と豊かな街づくりに貢献しています。

手をつなぐ親の会の活動

白岡市手をつなぐ親の会

手をつなぐ親の会は、今年創立50周年を迎えました。5月のふれあいのもりまつりや10月のふるさとまつりに参加し、市内にある14の障がい者施設や団体の皆さんと障がい児者の福祉について毎月話し合い、地域の皆さんにご理解いただきながら活動しております。

白岡市コミュニティ協議会は、防犯の街づくりを推進しています。

ライオンズクラブの活動

白岡ライオンズクラブ

私たち白岡ライオンズクラブは社会奉仕を目的とする団体です。年に数回、小中学校を訪問し、薬物乱用防止講習をしています。また図書館には、ライオンズ文庫コーナーに寄贈し続けて、三十余年経ちます。私達は、青少年の健全育成を目指しています。



あなたを狙う 振り込め詐欺



「慌てない」
「確認する」
「相談する」

絶対振り込まない！



会話の中でこの言葉がでたら振り込み詐欺と疑ってください！
携帯電話の番号がかわったよ

「おかしい？」と思ったら、久喜警察署へ電話を！ **24-0110**